

※本アンケートはパソコンやスマートフォン
などからもご回答いただけます。
こちらの二次元コードを読み取りいただくか、
下記 URL にて回答画面を開き、
左の「WEB 回答用 ID」を入力したうえで、ご回答ください。



<https://logoform.jp/form/yL3H/1309922>

《第10期》塩竈市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画

介護サービス事業所実態調査

<調査の趣旨とご協力のお願い>

日頃より塩竈市の高齢者保健福祉行政にご協力をいただきありがとうございます。
本市では、令和9年度から令和11年度までを計画期間とする「塩竈市高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画」の策定作業を進めています。このたび、計画策定の基礎資料とするため、市内で介護保険サービスを提供している介護サービス事業者の事業の状況や、働いている皆様の状況、ご意見等をお聞かせいただきたいと思います。アンケート調査を実施することといたしました。

ご回答いただいた内容は、集計後、統計的に分析し、事業者ごとに公表することはありません。また、調査目的のみに使用します。

つきましては、業務ご多忙のところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和7年12月

ご記入にあたってのお願い

1. この調査票は事業者の方がご記入ください。
2. 原則、令和7年12月1日の状況で記入してください。
3. 質問によっては、○をつける選択肢を「1つに○」、「あてはまるものすべてに○」などとしている場合は、指定の範囲内で○をつけてください。また、「その他」をお選びいただいた場合には、お手数ですが所定の欄に具体的な内容をご記入ください。
4. ご回答いただいた調査票は、**12月26日(金)までに**同封の返信用封筒（切手不要）に入れて郵便ポストにご投函ください。

【本調査に関する問い合わせ先】

塩竈市 福祉子ども未来部 高齢福祉課 電話：022-364-1204

〒985-0052 塩竈市本町1番1号 壱番館庁舎1階

I 貴事業所の概要についてお伺いします

問1 貴事業所の従業員の人数と内訳についてお答えください。(令和7年12月1日時点)

1. 貴事業所の従業員の数

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
①正 規	人	人	人	人	人	人
②非正規	人	人	人	人	人	人

2. 勤務年数ごとの正規・非正規職員の従業員数

	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上
①正 規	人	人	人	人	人
②非正規	人	人	人	人	人

3. 令和7年1月1日から令和7年12月31日までの1年間の採用者数

①1年間の採用者数	人	②正規職員	人	③非正規職員	人
-----------	---	-------	---	--------	---

4. 令和7年1月1日から令和7年12月31日までの1年間の離職者数

①1年間の離職者数	人	②正規職員	人	③非正規職員	人
④離職者の平均の勤務年数	年 (記載例: 2.5年 小数第2位を四捨五入)				

問2 貴事業所が提供するサービス（予防を含む）についてお答えください。
（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------|-------------------------------|
| 1. 訪問介護 | 2. 訪問入浴介護 |
| 3. 訪問看護 | 4. 訪問リハビリテーション |
| 5. 居宅療養管理指導 | 6. 通所介護 |
| 7. 通所リハビリテーション | 8. 短期入所生活介護 |
| 9. 短期入所療養介護 | 10. 特定施設入居者生活介護 |
| 11. 居宅介護支援 | 12. 福祉用具・特定福祉用具 |
| 13. 地域密着型通所介護 | 14. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 |
| 15. 夜間対応型訪問介護 | 16. 認知症対応型通所介護 |
| 17. 小規模多機能型居宅介護 | 18. 認知症対応型共同生活介護
（グループホーム） |
| 19. 地域密着型特定施設入居者生活介護 | 20. 地域密着型 介護老人福祉施設入居者
生活介護 |
| 21. 介護老人福祉施設 | 22. 介護老人保健施設 |
| 23. 介護医療院（介護療養型医療施設） | 24. 訪問型サービス（総合事業） |
| 25. 通所型サービス（総合事業） | |
| 26. その他（ | ） |

II 運営状況についてお伺いします

問3 貴事業所の現在の経営状況をどのように認識していますか。(あてはまるもの1つに○)
※おおよその感覚でお答えいただいで構いません。

- | | |
|----------|----------|
| 1. 常に黒字 | 2. 概ね黒字 |
| 3. 収支は均衡 | 4. 概ね赤字 |
| 5. 常に赤字 | 6. わからない |

問4 貴事業所が受けられる利用者の数【供給(※1)】に対して、貴事業所の利用を希望する人の数【需要(※2)】は、次のどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)
※おおよその感覚でお答えいただいで構いません。

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 需要が供給を大きく上回る | 2. 需要が供給をやや上回る |
| 3. 供給が均衡している | 4. 需要が供給をやや下回る |
| 5. 需要が供給を大きく下回る | 6. わからない |

※1 供給は、定員、ベッド数、人員体制等

※2 需要は、現在の利用者も含めてお考えください。

問5 貴事業所の円滑な運営を進めていくうえで、支障となっていることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 利用者の確保が難しい | 2. 専門職の確保が難しい |
| 3. 職員が定着しにくい | 4. 人材育成が難しい |
| 5. 職員の仕事への意欲を維持することが難しい | 6. 職員の資質向上を図ることが難しい |
| 7. 経営経費、活動資金が不足している | 8. 介護報酬が少なく、採算がとれない |
| 9. 利用者や家族の制度への理解不足 | 10. 利用者に対する情報提供が難しい |
| 11. 事務作業量が多い | 12. 市役所等の行政と連携を図ることが難しい |
| 13. 医療機関と連携を図ることが難しい | 14. 特になし |
| 15. その他(具体的に：) |) |

Ⅲ 介護人材の定着・離職等についてお伺いします

問6 職種ごとの従業員の過不足について、どのように感じていますか。
 また、『⑧全体で見た場合』で、「大いに不足」「不足」「やや不足」の
 いずれかに○をつけた事業者は、問7でその理由についてもお答えください。

	過不足の状況（職種ごとに○は1つ）					当該職種 はいない
	大いに 不足	不足	やや 不足	適当	過剰	
①訪問介護職員	1	2	3	4	5	6
②サービス提供責任者	1	2	3	4	5	6
③介護職員	1	2	3	4	5	6
④看護職員	1	2	3	4	5	6
⑤生活相談員	1	2	3	4	5	6
⑥介護支援専門員	1	2	3	4	5	6
⑦理学療法士・作業療法士・ 言語聴覚士・機能訓練指導員	1	2	3	4	5	6
⑧全体で見た場合	1	2	3	4	5	6



問7 【問6の『⑧全体で見た場合』で、「大いに不足」「不足」「やや不足」のいずれかに○をつけた事業者に伺います。】
 不足している理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 離職率が高い（定着率が低い）
2. 採用が困難である（募集しても応募がない、または少ない）
3. 経営（収支）状況が厳しく、雇用できない
4. その他（具体的に： _____ ）

問8 人材の確保が難しいと感じていますか。またその理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1. 感じない
- 2. 他業種に比べ賃金水準が低い
- 3. 多くの業界が人手不足であり介護業界は特に厳しい
- 4. 同業他社との人材獲得競争が厳しい
- 5. 仕事がきつい(肉体的・精神的)というイメージがある
- 6. 雇用が不安定というイメージがある
- 7. 介護業界のマイナスイメージがある
- 8. 夜間勤務が敬遠されている
- 9. その他(具体的に:)

問9 離職者について、主な離職理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 収入の問題(賃金に対する不満)
- 2. 労働時間・休日・勤務体制の問題
- 3. 身体的な不調
- 4. 精神的な不調
- 5. 従業員自身の高齢
- 6. 家族・親族の介護や看護
- 7. 従業員自身の結婚、出産
- 8. 従業員自身の育児
- 9. 職場の人間関係
- 10. 法人・事業所の理念や運営との不一致
- 11. キャリアアップのための転職
- 12. 独立や他事業所への移籍
- 13. 他職種への転職
- 14. 人員整理など事業者側の都合
- 15. その他(具体的に:)

問10 従業員が不足し、充足しない場合、どのように対応していますか。
(あてはまるもの1つに○)

- 1. 職員配置基準を守るため、サービス利用者を減らしている
- 2. 法人内の他の事業所から配置転換している
- 3. 人材派遣会社に職員派遣を依頼している
- 4. 特に対応していない
- 5. その他(具体的に:)

問11 従業員の定着状況についてどのように考えていますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1. 定着率が低く、困っている
- 2. 定着率は安定しており、困っていない
- 3. その他()

問 12 従業員の離職防止や定着促進を図るために、どのような取り組みを行っていますか。また、その取り組みのなかで、効果があったと思われるものに○を記入してください。

選択肢	① あてはまるもの (複数回答可)	② 効果があったと 思われるもの (上位3つまで)
賃金・休日などの労働条件を改善している	1	1
本人の希望に応じた勤務体制にする等労働条件の改善に取り組んでいる	2	2
休暇の取りやすい職場環境の充実を図っている	3	3
出産、子育て、家族等への支援などの制度を充実させている	4	4
能力等を評価し、配置や処遇に反映している	5	5
キャリアに応じた給与体系を整備している	6	6
非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	7	7
社内研修、外部研修など能力開発の機会を設けている	8	8
資格取得への支援を推進している	9	9
業務改善や効率化など働きやすい職場づくりを進めている	10	10
介護ロボットやICT等の導入による働きやすい職場づくりを行っている	11	11
不満や悩みなどの相談窓口を設けている	12	12
職場内コミュニケーションの円滑化を図っている	13	13
福利厚生を充実させ、職場内の交流や職員の健康管理などに努めている	14	14
特に取り組みは行っていない	15	15
その他(具体的に)	16	16

問 13 介護人材不足に対し、行政(国・県・市)に望むことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 特にない 2. 介護業界のイメージアップや就職促進の取り組み 3. 外国人介護人材の受け入れ支援 4. 職員研修メニューの充実(資質の向上) 5. 賃金水準の向上支援 6. 勤務条件の改善支援 7. ロボット等の介護機器の導入支援 8. 求職者と事業所のマッチング支援 9. その他(具体的に :)
